

平成26年8月8日

報道関係各位

大阪観光局
大東市

**映画「円卓 こっこ、ひと夏のイマジン」公開に伴う
ロケ地となった学校ツアーの結果について
～ニューツーリズムの創出へ、福岡県や愛知県からも来阪されました～**

大阪観光局「大阪フィルム・カウンスル」担当では、昨夏に大阪府下を中心として撮影が行われた映画「円卓 こっこ、ひと夏のイマジン」が今年6月21日から公開になるに当たり、撮影に協力した大東市、堺市、吹田市、池田市、大阪市西成区等と共同で、パネル展やロケ地マップの制作・配布、親子試写会、ロケ地となった学校ツアーといった大阪府内を回遊していただけるスクリーンツーリズムを企画・展開いたしました。

そして、そのうち、メインロケ地となった大東市の学校ツアーにおいて、参加者にアンケートを行うこと等により、ニューツーリズムの一つであるスクリーンツーリズムの動向実態計測を試み、今般、その結果がまとまりましたのでご報告いたします。

同ツアーは、6月14日、6月29日、7月6日の各2時間（計6時間）の実施でしたが、住宅地内の学校にも関わらず、合計で360人もの方にお集まりいただきました。（詳細は添付の別紙をご参照ください。）

なお、今般、本企画に携わった大阪観光局「大阪フィルム・カウンスル」や各自治体等では、この作品をご縁とした新たなアライアンスを形成した上で、複数の自治体共同でニューツーリズムを創出するというトライアルとなりましたが、上記学校ツアーでは遠方は福岡県や愛知県からの来阪観光客を創出できたほか、地元・大東市から参加された方々のコメントで同作品の誘致・撮影・上映によるシビックプライド（街に対する誇りや愛着）の高揚も感じ取ることができたことから、今後、このアライアンスを撮影受皿事例の一つとして、次なる大阪を舞台とした作品誘致に努めてまいります。



6月29日のツアー風景

【メインロケ地となった学校ツアーの概要】

場所：旧大東市立北条西小学校内（現在は大東市の管理施設、JR野崎駅から徒歩約5分）

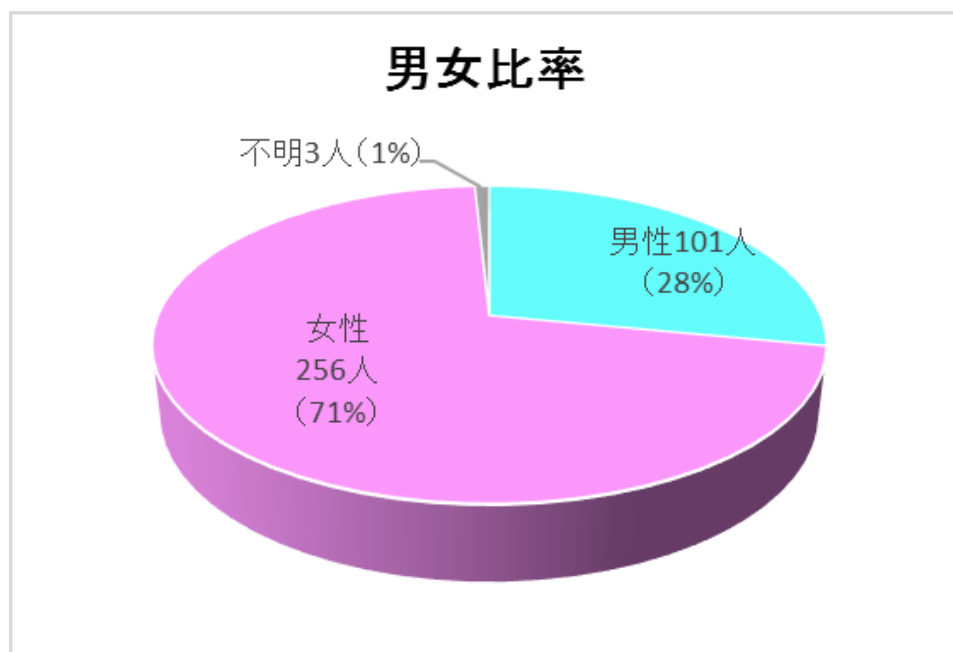
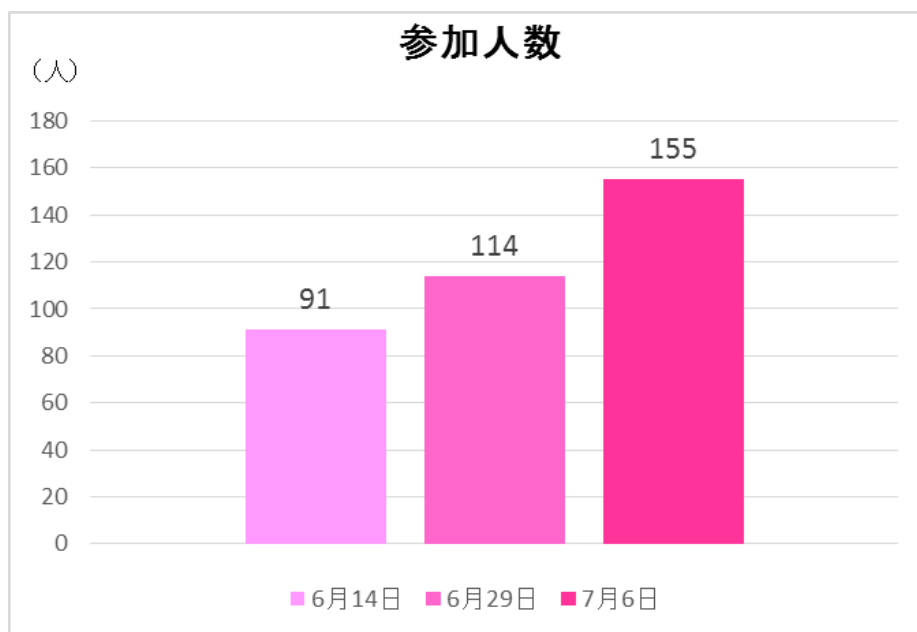
日時：平成26年6月14日（土）15時から17時

6月29日（日）10時から12時

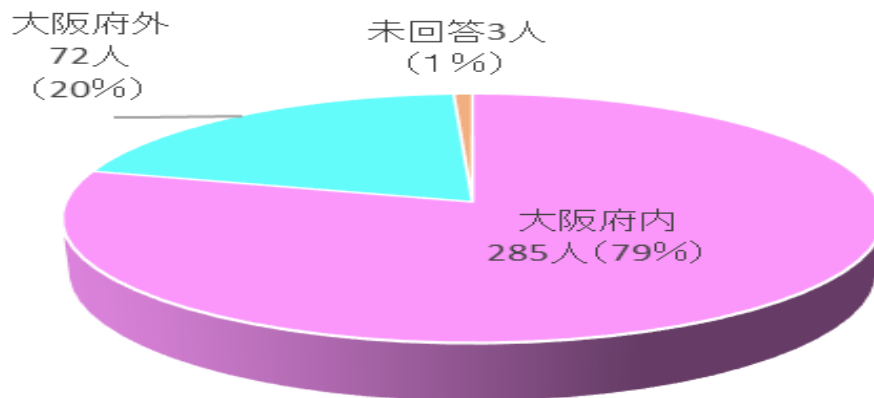
7月6日（日）10時から12時

の間に随時受付（計6時間の実施）

【アンケート・データ部分】

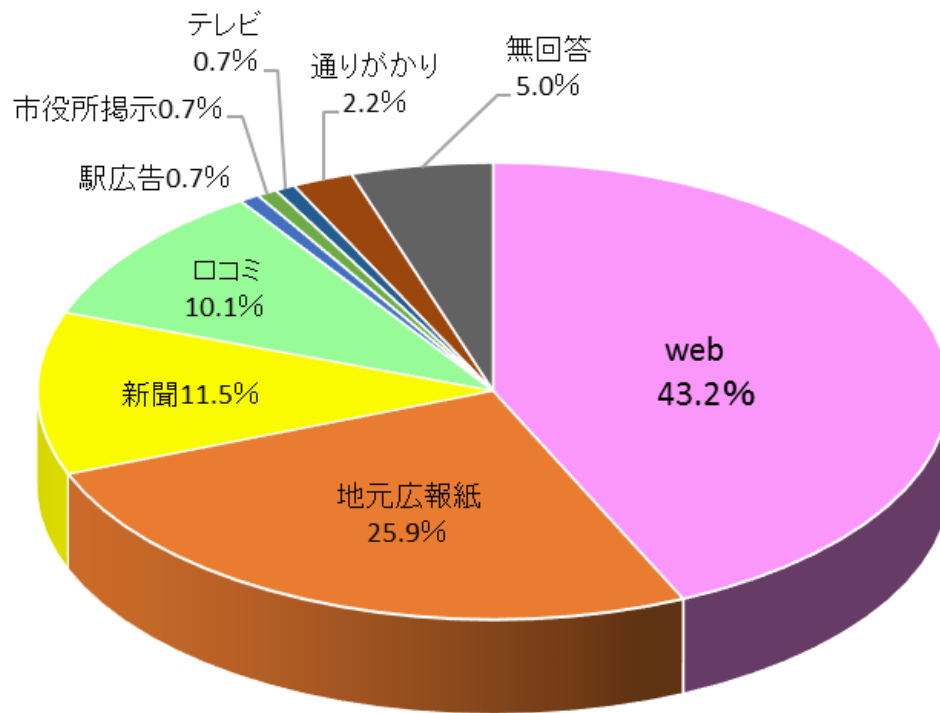


お住まい(大阪府内外比)



| お住まい(詳細:人) | | | | | |
|------------|-------|-------|------|-----|-------|
| | 6月14日 | 6月29日 | 7月6日 | 合計 | 合計比率 |
| 大東市 | 38 | 48 | 67 | 153 | 42.5% |
| 大阪市 | 9 | 10 | 15 | 34 | 9.4% |
| 吹田市 | 5 | 5 | 4 | 14 | 3.9% |
| 堺市 | 0 | 2 | 4 | 6 | 1.7% |
| 寝屋川市 | 7 | 0 | 1 | 8 | 2.2% |
| 豊中市 | 1 | 1 | 4 | 6 | 1.7% |
| 枚方市 | 8 | 0 | 8 | 16 | 4.4% |
| 和泉市 | 3 | 0 | 0 | 3 | 0.8% |
| 東大阪市 | 2 | 6 | 4 | 12 | 3.3% |
| 高槻市 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0.8% |
| 四条畷市 | 0 | 3 | 4 | 7 | 1.9% |
| 茨木市 | 0 | 4 | 5 | 9 | 2.5% |
| 泉大津市 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.3% |
| 島本町 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.3% |
| 高石市 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0.6% |
| 河内長野市 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0.3% |
| 交野市 | 0 | 0 | 4 | 4 | 1.1% |
| 羽曳野市 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0.8% |
| 八尾市 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0.6% |
| 京都府 | 6 | 2 | 12 | 20 | 5.6% |
| 兵庫県 | 10 | 22 | 9 | 41 | 11.4% |
| 奈良県 | 2 | 0 | 4 | 6 | 1.7% |
| 愛知県 | 0 | 4 | 0 | 4 | 1.1% |
| 福岡県 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0.3% |
| 無回答 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0.8% |
| 合計 | 91 | 114 | 155 | 360 | 100% |

参加動機となった告知媒体



【データ部分の分析】

参加者の約7割は女性で、幅広い世代の方が参加されました。また、4割強が大東市民で、参加者はもちろん、学校周辺を通る多くの方々からも「円卓のイベントやな」と声を掛けられるなど、地元・大東市における非常に高い作品認知度やロケ地となったシビックプライドの高揚も感じられました。

一方、交通網の影響からかJR学研都市線から繋がる東西線、宝塚線、神戸線沿線となる兵庫県尼崎市・三田市・西宮市・神戸市から参加される方も多数おられました。

そして、遠方は福岡県や愛知県からも来阪される等、ニューツーリズムの創出へと繋がりました。

なお、参加動機となった告知媒体として、地元行政の広報紙、新聞報道のほか、SNS等のweb媒体も強い要因となりました。

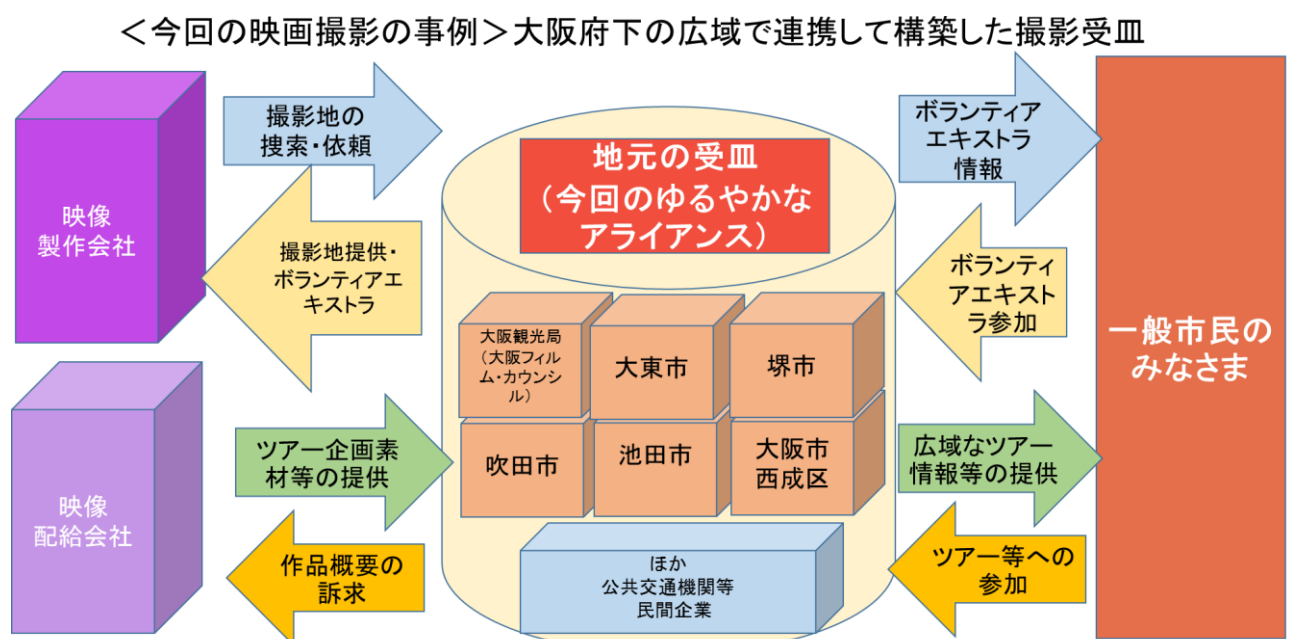
【アンケート・末尾の自由想起コメント部分の分析】

参加動機について、「地元の大東がロケ地だったため」、「子供が通った学校がロケでどのように使われたか見たかったから」、「大東市が好きだから」といった地元・大東市民ならではのコメントが多く見られた一方、「吹田のロケ地近くに仕事場があったので作品に親しみをもち、他のロケ地も見たくなかったの」といった回遊性のあるコメントも見られ、今回のツアーがロケ地への観光を創出できたことを確認できました。

また、「映画を見て学校のシーンがとても印象的だったから」という映画鑑賞後のコメントが見られる一方で、「映画を見に行くのでその前に見学したいと思った」という鑑賞前のツアー参加も確認できました。

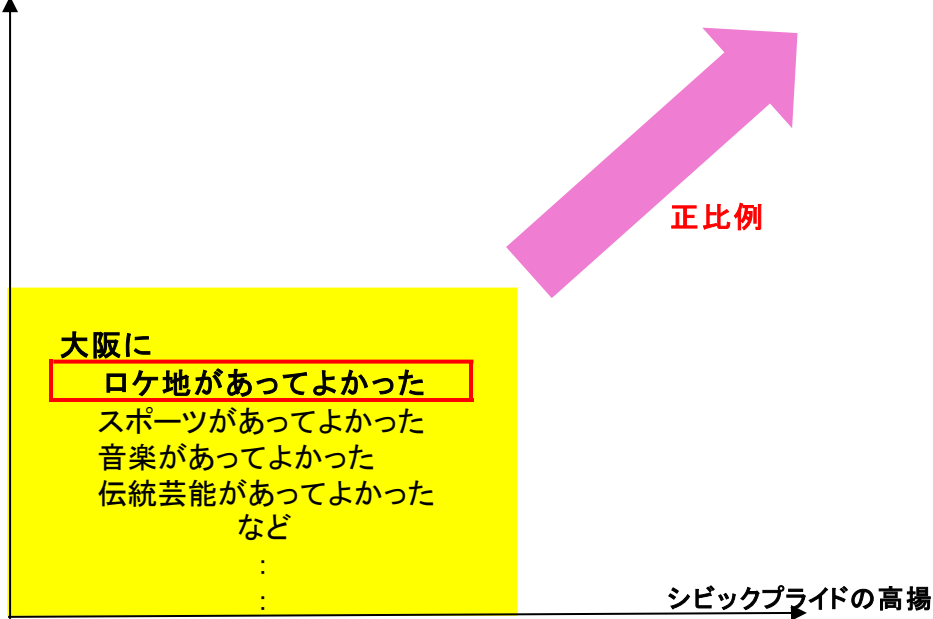
【今回の成果】

- ① 大阪府下の広域で連携して構築した撮影受皿



② シビックプライドの高揚と観光需要の深耕・創出

観光需要の深耕・創出



【今後の課題】

お住まいに関する回答360人中、大阪府内からの参加が285名（79%）、大阪府外からの参加者72人（20%）となり、府外からのツアー参加者の比率が想定ほどではなく、行政組織から全国の消費者に対する情報発信の限界や工夫の必要性が課題として残りました。

以上

<資料提供先>大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、大阪経済記者クラブ、
関西レジャー記者クラブ、枚方・守口記者クラブ

この資料に関するお問合せは

大阪観光局「大阪フィルム・カウンシル」担当 隅田・松崎

TEL. 06-6282-5905

までお願いいたします。